

博物館
Museum
☎ 68-1881

SL写生大会作品展



参加者すべての作品を展示します。

- とき** 6月7日(土)～15日(日)
午前10時～午後5時(初日は午後1時～、最終日は午後3時まで)
- ところ** ギャラリー
- 表彰式** 6月7日(土) 午後1時30分～



妖怪うちわをつくろう

塗り絵でオリジナルうちわを作ります。

- とき** 6月7日(土)～7月6日(日)
午前10時～午後5時
- ところ** 1階エントランス
- 参加費** 無料 ※申し込み不要



竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

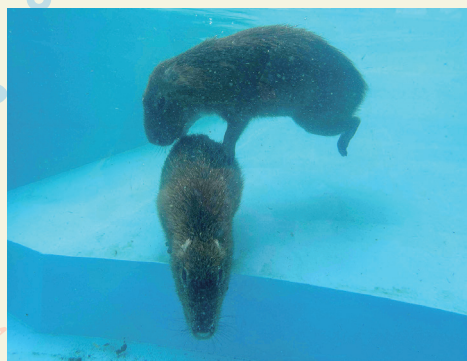
館長の
ひとりごと



小林 龍二

増築リニューアルの大きな波、そして怒涛のゴールデンウィークも無事に終えて、さあこれから次はどんな楽しいことをして水族館を盛り上げていこうか、と考えているところに、哺乳動物チームより大きな挑戦の提案がありました。チームは女性スタッフでまとまりがあり、元氣、笑顔、向上心もあります。青森でスカウトした飼育員夫婦の奥さんの方がリーダーとして知識と経験、自身の研鑽も惜しまずチームを引っ張っていつてくれるので頼もしい。そんなチームからの提案内容は「繁殖計画を進めたい」。2秒で「挑戦しよう」と返事をしました。

アシカの仲間のオタリア(ラブちゃん)、オットセイ、カピバラ、カワウソが現在の竹島水族館の哺乳動物です。私が就職したときはアシカしかいなかったのに、よく充実したなあと思います。そしてどの動物も現在「繁殖できる」状態。優秀なスタッフ



めざせ！二世誕生！

たちのおかげです。バックアップするこちらにも力が入ります。

ショーで活躍するラブちゃんとオットセイのペアは野生から来たので国内の血統維持のため他の水族館と調整して旦那さん、お嫁さん探します。同様にオランダの動物園生まれのカワウソも国内繁殖の相手を探し中で、経過は順調。カピバラは雄雌自給でそろっているので同居開始。

繁殖成功のガッツは、飼育員の愛情と努力と熱意をどれだけ動物が受けて応えてくれるにかかっています。かわいい赤ちゃんを皆さんに公開できるような大きな挑戦が始まります。